令和８年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和７年度末時点）

１　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市立休日夜間急病診療所	施設所管課	保健局　保健企画課
施設住所	尼崎市西難波町6丁目1番9号	竣工	R7.9(築満0年)
設置目的	休日・夜間における急病患者に対する応急診療等を行うことにより、医療体制の確保及び充実を図る		
主な事業内容	休日夜間急病診療事業、診療所施設維持管理事業		
指定管理者名	一般社団法人尼崎市医師会	指定期間	自　R7.11.1　至　R12.3.31

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A（施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設）
指定管理者に主として期待される事項	☑専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 □効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

(3)　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
医療従事者等の安定確保及び診療施設の適正な維持管理を通じて、休日・夜間における1次救急医療体制を確保することで、市民サービスの向上を図る。

実施結果
移転初年度において、前診療所での運営経験を活かすことで早期に診療体制を構築し、休日・夜間の1次救急医療機関としての役割を果たした。中でも令和7年のインフルエンザは例年より1-2か月早い異例の早期大流行となったが、院内感染対策など的確な対応を行い、1日も休診することなく診療体制を確保することができた。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者の満足度（利用者アンケートの集計結果に基づく）

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
目標	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	－	－	－	－	－	－
実績	3.60					－	－	－	－	－	－
達成度	103%					－	－	－	－	－	－
評価	○					－	－	－	－	－	－

指標②：年間日数に対する実際の診療日数の割合（%）

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
目標	151日	365日	365日	366日	365日	－	－	－	－	－	－
実績	151日					－	－	－	－	－	－
達成度	100%					－	－	－	－	－	－
評価	◎					－	－	－	－	－	－

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
診療実績及び感染症の発生動向等を踏まえて、より効率的な人員配置に努める。

実施結果及び評価
受診者が少ない時期においては医療従事者を最小限の配置としている。また、受診者が集中する年末年始においては増員配置しているものの、受診者の待ち時間を考慮しつつ最低限の増員に抑えており、効率的に診療体制を維持した。　○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
こまめな節電及びペーパーレス化等に努めていく。

実施結果及び評価
移転初年度であり実績比較はできないものの、節電には務めており、効率的な運営と環境への配慮を両立した。なお、ペーパーレス化については今後も引き続き意識して取り組んでいく必要がある。　○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	210,621,000	210,621,000	0	人件費	178,546,000	169,489,754	9,056,246
預金利息	0	57,772	57,772	事業費	13,352,000	9,121,762	4,230,238
			0	施設維持管理運営費	7,897,000	10,298,061	−2,401,061
			0	その他	10,826,000	6,536,760	4,289,240
修繕費	243,000	257,070	14,070	修繕費	243,000	257,070	−14,070
薬品費	14,742,000	22,852,745	8,110,745	薬品費	14,742,000	22,852,745	−8,110,745
手数料	1,747,000	1,882,600	135,600	手数料	1,747,000	1,882,600	−135,600
収入計	227,353,000	235,671,187	8,318,187	支出計	227,353,000	220,438,752	6,914,248

２　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	診療所の効用を最大限に発揮させ、安定した管理運営を行うこと。
指定管理者自身が設定した目標	安全で質の高い医療を安定的に提供するため、医療従事者等の確保、施設の適正な維持管理及び個人情報の適切な管理を推進する。

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	休日夜間の一次救急医療機関として、利用者が安心して受診できる診療所						
目標指標	指標	利用者の満足度(利用者アンケートの集計結果に基づく)					
	指定期間	R7	R8	R9	R10	R11	達成状況の評価
	目標値	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	目標を達成した
	実績値	3.60					

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月1回の月例連絡会議を通じて管理運営状況の共有を行ったほか、定例会議以外でも移転当初より管理運営を円滑に行えるよう密に協議を重ね、顔の見える関係性の構築を図った。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

・市に寄せられる診療所への意見について、指定管理者と意見交換を図る中で、改善が必要な点は両者で協力して改善に結び付けるなど、受診者が安心して受診できる環境整備を共に目指すことができた。
・市と指定管理者が、新興感染症等の有事の際の施設の役割を共有し、今後の体制整備に向けた必要な協議を進めている。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

成果については、平日深夜、土日祝日の診療を継続し、地域住民の急病時の受診先としての役割を果たした。特に休日や連休時には多くの患者が受診しており、地域医療のセーフティネットとして機能した。また、診療体制の整備についても受付から診療、会計、服薬指導までの業務フローの改善、待ち時間の案内方法の改善にも取り組んだ。
課題については、休日や連休期間など、患者数が集中する時間帯では待ち時間が長くなる傾向がある。また、人員体制において、夜間・休日診療という特性上、医療スタッフの確保が難しく、安定的な体制を維持することは容易ではないと認識している。
より良い施設管理に向けた市への提案について、当診療所の役割(応急的な診療機関であること)や受診の目安について、市広報誌やホームページなどでの周知を継続することで、適切な受診につながると考える。また、患者動向の状況や運営上の課題について、市と指定管理者が定期的に情報共有することで、より円滑な施設運営に繋げていきたいと考える。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

令和7年度は移転初年度であったため管理運営に苦慮することが想定されたものの、1日も休診することなく診療体制を維持することができた。救急医療体制の整備において休日夜間急病診療所の役割は、2次及び3次救急医療体制を整備する上での基礎となる重要なものであることから、今後も引き続き安定的な管理運営を継続していただきたい。
課題としては、受付から服薬指導までの各セクションごとの所要時間について改善できる余地があると思われるため、今後もトレーニングを重ねる中で時間短縮に努め効率化を図っていただきたい。また、管理経費についても実績額を踏まえた適正な積算が必要と考える。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

引き続き、安全で質の高い医療を安定的に提供できるよう、医療スタッフの安定的な確保に注力し、診療体制を維持するとともに、受診者の待ち時間縮減にも努めていく。また、受診者が必要な情報を得られるよう、市と指定管理者が協力して情報発信を充実させていく。さらに、管理経費の積算にあたっては適正額の把握に努め、維持管理などの契約においては、見積合わせを徹底するなど、管理経費の節減に努めていく。